

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 28日

高知市長 岡崎 誠也 殿

提出者

住 所 高知市北竹島町490

氏 名 株式会社NIPPO高知統括事業所分室
分室長 伊東 一男

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-833-0277

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する 2023年度 計画を作成したので、提出します。

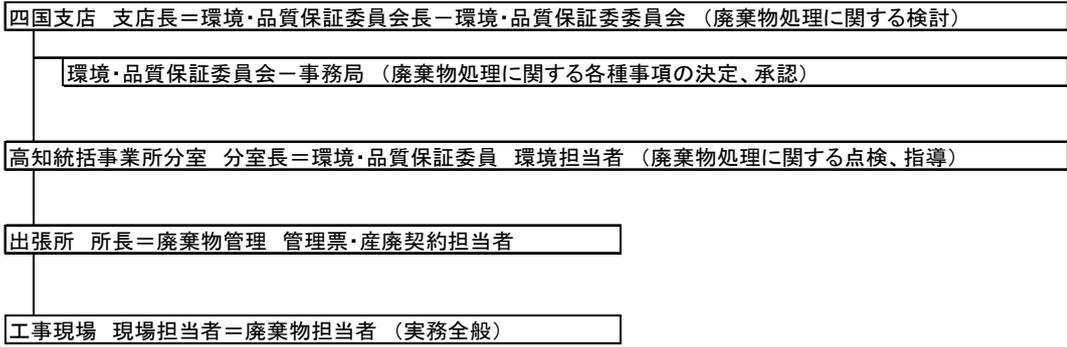
事業場の名称	株式会社NIPPO高知統括事業所分室 管内
事業場の所在地	高知市北竹島町490
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 73,388万円
③ 従業員数	12人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類ー処理業者へ委託ー再生材として再資源化・廃プラスチックー処理業者へ委託ー再資源化または最終処分場・汚泥ー処理業者へ委託ー再資源化・金属くずー処理業者へ委託ー再資源化・木くずー処理業者へ委託ー再資源化または最終処分場・紙くずー処理業者へ委託ー再資源化または最終処分場・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずー処理業者へ委託ー再資源化または最終処分場・廃油ー処理業者へ委託ー再資源化または最終処分場

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(2022年度)実績】 単位:t

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	混合廃棄物	廃油	
排出量	1,769.50	22.20	1.10	3.69	24.10	0.85	2.71	32.68	3.43	

①現状 (これまでに実施した取組)
 当社の場合、工事受注量により産業廃棄物の排出量が増減する。

【目標】 単位:t

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	混合廃棄物	廃油	
排出量	1,400.00	5.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

②計画 (今後実施する予定の取組)
 中間処理工場に搬入し再資源化することに注力。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
 がれき類、廃プラスチック類、汚泥、金属くず、木くず、紙くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃油はそれぞれ分別している。

②計画 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
 全従業員に分別を周知徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・陶磁器くず及び繊維類	混合廃棄物	廃油			
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(これまでに実施した取組) 実施なし												
		【目標】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・陶磁器くず及び繊維類	混合廃棄物	廃油			
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(今後実施する予定の取組) 予定なし												

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・陶磁器くず及び繊維類	混合廃棄物	廃油			
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(これまでに実施した取組) 実施なし												
		【目標】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・陶磁器くず及び繊維類	混合廃棄物	廃油			
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(今後実施する予定の取組) 予定なし												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・セラミックスくず及び陶磁器くず	混合廃棄物	廃油			
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(これまでに実施した取組) 実施なし												
		【目標】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラスくず・セラミックスくず及び陶磁器くず	混合廃棄物	廃油			
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
(今後実施する予定の取組) 予定なし												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(2022年度)実績】										単位:t
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥									
①現状	全処理委託量	1,769.50	22.20	1.10								
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00								
	再生利用業者への処理委託量	1,769.50	22.20	1.10								
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00								
(これまでに実施した取組) 優良認定業者及び再生利用業者に委託し、環境負荷の少ない方法で適正に処理する。 処理委託契約を結ぶ時、業者の選定は上位部署に内容を報告し、確認をとり行う。												

【目標】		単位:t									
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	木くず	紙くず	ガラス・陶器・繊維類の廃棄物	混合廃棄物	廃油		
全処理委託量	1,400.00	5.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再生利用業者への処理委託量	1,400.00	5.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>がれき類はグループ製販会社(株式会社南四国アスコン)での再資源化を基本とする。 がれき類以外は、優良認定業者及び再生利用業者に委託し、環境負荷の少ない方法で適正に処理する。</p>										
※事務処理欄											